

**≪和光特別支援学校の活性化・特色化方針≫**

<b>種別</b>	肢体不自由	<b>学部・ 学科</b>	小・中・高	<b>R4.5.1 児童・ 生徒数</b>	(男)90 (女)57	計 147
<b>アクセス</b>	東武東上線和光市駅南口より 「西大和団地」「司法研修所」 行き乗車 バス停「西大和団地」下車 徒歩7分					
<b>＜教育課程等＞</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の障害や発達の状況に応じて、類型を4つに分け、学びの保障、柔軟性のある教育課程を編成している。また、教科・領域によっては児童生徒の実態等を踏まえて学習集団を組むなど、その年の児童生徒の状況に合わせて授業を行っている。</li> <li>・健康面等の理由から通学が難しい児童生徒に在宅訪問指導を行っている。</li> </ul>						
<b>＜学校行事・部活動＞</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動集会や文化祭は、学部・ブロックごとに行い一丸となって取り組んでいる。</li> <li>・宿泊学習、社会体験学習、修学旅行等を通して経験領域の拡大、社会性の育成を目指している。</li> <li>・高等部・中学部の一部の生徒は、陸上競技、ローリングバレー、ポッチャなどのスポーツ大会に出場し、放課後にその練習を行っている。</li> </ul>						
<b>＜家庭・地域との連携＞</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校見学を小・中学部4回、高等部2回実施。</li> <li>・昨年度は、35名の児童・生徒が、近隣の小中学校と支援籍学習、交流及び共同学習を間接交流で行った。</li> <li>・高等部においては、和光国際高校、和光高校と交流学习を行っている。</li> <li>・和光市社会福祉協議会からの依頼で、地域の中学校での『福祉共育』の授業で中学部・高等部の有志の生徒が講演。</li> <li>・特別支援教育センター的機能として、巡回相談や学校訪問などを中心に地域のニーズに対応している。</li> </ul>						
<b>＜進路＞</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路を見据えて、進路に関する学習、産業現場等における実習の実施。</li> <li>・就職は1割未満。施設などの利用が9割強となっている。  <ul style="list-style-type: none"> <li>＜企業就労＞事務系（PC、書類の整理等）の仕事を行っている。</li> <li>＜福祉的就労＞さいたま市、戸田市、朝霞市、志木市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、所沢市の福祉施設に就労。</li> </ul> </li> <li>・例年、小学部・中学部の児童・生徒は、中学部・高等部へ進学することが多い。</li> <li>・令和3年4月、大学に1名入学</li> </ul>						



# 和光特別支援学校 育成方針 ～自分らしく、豊かに生きる力を育む学校～

## 本校の特色

本校は昭和 52 年創立、46年目を迎える肢体不自由特別支援学校。  
児童・生徒の障害の特性を踏まえた教育内容を大切に、一人一人に応じた学習を行っています。



## 授業の充実

丁寧に実態把握を行い、一人一人に応じた指導を大切に、各教科、自立活動などの学習をしています。PDCA サイクルをもとに常に授業の改善を行っています。



## 体験活動の充実

児童生徒の生活経験を広げられるよう、どの学年においても体験活動を取り入れ、児童生徒の学びにつなげています。



## 医療的ケアの充実

経管栄養、吸引、吸入、導尿、酸素療法を必要とする児童生徒が学んでいます。学習環境が整ってきたことで、教室でケアが受けられることも増えてきました。



## 学校教育目標

- ・豊かな表現力を育てる(表現力)
- ・いきいきと生活する力を育てる(自立・自己決定)
- ・すすんで学ぶ習慣と基礎的な学力を培う(学習)
- ・協力し合い、人と関わる力を育てる(仲間意識・社会性)

## 本校の教育課程

### 類型Ⅱ

### 類型Ⅰ

小中学校・高等学校の各学年に準ずる教育課程

小中学校・高等学校の目標・内容の一部又は全部を前学年に替えて学習する教育課程

## 柔軟に指導内容を選択

### 類型Ⅳ

各教科の内容の一部又は全部に替えて、自立活動を主として学習する教育課程

### 類型Ⅲ

各教科の目標・内容を知的特別支援学校の各教科の目標・内容に替えて学習する教育課程

## 身につけたい力(一部抜粋)

※学部間の接続を意識した、12年間の中で育成する資質・能力

		学部・ブロック目標	類型Ⅰ・Ⅱ	類型Ⅲ	類型Ⅳ
		内容			
自立・自己決定	小低	生活リズムを整え、見通しをもって楽しく学校生活を送る。	・生活に必要な習慣を身につけ、自分でできることは自分で行う力	・見通しをもって学校生活を送り、自分でできることに取り組もうとする力	・身近な大人とともに様々な活動にむかう力
	小高	基本的な生活習慣を身につけ、学校生活を主体的に取り組む。	・自分の身体や健康について知り、自分でできること、他者に依頼することを考え、判断し、行動する力	・様々なことに自分から取り組み、身の回りのできることを増やす力	・様々な活動に主体的に取り組む力
	中	基本的な生活習慣を確立し、自己の目標をもって、主体的に判断し行動する。	・働くことや社会に貢献することについて考え、将来について適切な情報を収集・整理する力	・自分でできることや他者に依頼することを考える力	・簡単な見通しを持ち、自分らしく活動に取り組む力
	高	自己実現のため、卒業後の社会生活を豊かに送る力を身につける。	・自分の将来や生活のために必要な情報を収集・整理したり、自己を見つめ直したりし、将来や暮らしについて自己選択・自己決定する力	・自分でできることと依頼することを的確に判断し、主体的に活動する力	・今まで身につけてきた力を伸ばし、様々な人や環境の中で自分らしく生活する力
仲間意識・社会性	小低	集団活動を通して、友だちとのかかわりを豊かにする。	・相手の気持ちを考え、思いやって接する力 ・生活の中の基本的なルールやマナーを守って生活する力	・身近な大人や友だちと一緒に活動できる力	・身近な大人を支えにして、友だちを意識する力
	小高	協力して活動に取り組むことを通して、互いに理解し認め合う。	・友だちと互いに信頼し、学び合う力 ・相手の立場に立ち、時と場に合わせた行動する力	・協力して活動に取り組み、友だちのことを知ろうとする力	・友だちの存在に気づき、共に活動に参加する力
	中	相手の立場を考え、協力し合いながら人間関係を広げる。	・互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を導き出せる力 ・身の回りの人たちの善意に感謝したり、他者にかかわったりする力	・基本的なルールやマナーを学び、協同して行動する力 ・自分と他者の違いを理解し、友だちを思いやる力	・相手と相互にかかわり、物事や体験を共有する力
	高	集団や社会の一員として、多様な他者と適切にかかわる力を身につける。	・相手の立場に応じて、発言の仕方を工夫し、課題を解決する力 ・社会の一員としての自覚をもち、自ら社会にかかわる力	・集団活動の中で、周囲の状況を理解し、的確に行動する力 ・様々な人とのかかわりの中で、自他の違いを認め互いに協力して物事に取り組む力	・様々な集団の中で、他者と適切にかかわる力